

おくまんさま

秋号 令和7年11月1日発行 第100号

発行第百号

神社便りも平成十九年に現在の発行様式になってからおかげさまで発行第百号を迎えました。記念に各号の記事から抜粋してこれまでの出来事を振り返ってみたいと思います。

☆ 平成十八年

☆十二月
院内溜池の改修工事に伴い、山の神から境内地までの道路舗装工事が完成しました。

☆ 平成十九年

☆九月
宮司交代しました。

☆ 平成二十二年

☆五月～七月
矢木沢地区・楯地区の皆さんが力を合わせて、大照院熊野神社と八幡神社の修繕工事を行いました。

☆ 平成二十三年

☆三月

東日本大震災。熊野神社をはじめ湯野沢の各神社に被害はありませんでした。

☆六月

参拝者からのご指摘を受け一番上鳥居横のご神木の補強工事を行いました。

☆十月

天神様本殿の屋根塗り替え工事を行いました。

☆ 平成二十五年

☆六月

九月までの工期で本殿の土台、幣殿の屋根と壁面の修理工事を行いました。

☆八月

責任役員菅井さんが稲荷神社参道を舗装し、石灯籠一对を寄付してくださいました。

☆九月

前回平成十五年から十年ぶりに湯野沢熊野大祭を行い、大盛況のうちに納めました。

☆十一月

文化庁文化審議会において熊野神社本殿と拝殿を国指定登録有形文化財とする答申がなされました。

また吉村県知事と志布市長が熊野神社を見学されました。

☆ 平成二十六年

☆四月

熊野神社本殿と拝殿が国指定登録有形文化財に登録されました。

☆十月

前年台風で破損した久保地区お伊勢様が、伊勢講中の皆さんのご尽力により建て替えられました。

☆ 平成二十九年

村山市制作外国人向け居合道宣伝ビデオの撮影が行われました（当社は居合道とは無関係です）。

<https://www.youtube.com/watch?v=16UKtHFbkg>。

☆ 平成三十年

☆十月

稲荷神社の屋根塗り替えを行いました。

☆ 令和元年

☆五月
「湯野沢熊野神社」名でInstagramを始めました。

☆八月

熊野神社ご神木がJR東日本車内広報誌「トランヴェール」の表紙を飾りました。

☆九月

伝統芸能保存会を始め地区内皆様のお力により御神輿を修理しました。

☆十一月

十月の台風の大風でご神木二号の上部が折れて落下し、参道も塞いだため撤去作業を行いました。

☆ 令和二年

☆一月

ご神木二号の大枝が拝殿屋根上に落下し、屋根が大きく壊れました。自治会他のご協力で修復委員会を立ち上げ、修理を始めました。また、この頃から新型コロナウイルス感染症が急速に拡大しました。

☆七月～八月

拝殿屋根修理工事のクラ

ウドファンディングを行い
全国のご有志の方々からご
支援を頂きました。

☆十月

拝殿屋根の修理工事と境
内樹木整理作業が完了しま
した。地区民全員の皆様に
始め全国のご有志の方々か
ら多大なるご支援を頂き深
くお礼申し上げます。

々 令和三年

☆十一月

ご神木一号の健康診断を
行い、万が一の時に木が御
社殿方向に倒れないように
ロープを設置しました。

々 令和四年

☆四月

毎月初めに月次祭を始め
ました。

☆五月

神社裏手山林の間伐作業
が始まりました。

☆九月

大正六年発行「富本村史」
を復刻し各戸にお配りしま
した。

☆十一月

約二百年前から伝わる貴

重な伝統芸能であることが
評価され、鹿子踊と奴振が
村山市の無形文化財に指定
されました。

☆十二月

昨年から行われていた間
伐作業が完了しました。

々 令和五年

☆九月

前回平成二十五年から十
年ぶりに湯野沢熊野大祭を
行い、大盛況のうちにお納
めしました。

この他にも神社保全各種
工事、忠魂碑や神具の修
理・製作、パンフレットや
各種案内板の設置を行って
おります。また賽銭泥棒、
熊出没などたくさんのお出
来事がありました。

あとがき

今回紹介した出来事があ
った間、世界でも多くの出
来事がありました。金融危
機、新型インフルエンザ、
イスラム国、東京オリンピ
ック、天皇陛下御即位、ウ
クライナ戦争など。つい最

近も女性初の高市新首相が
誕生するなど日本も世界も
めまぐるしく動いています。
湯野沢でも大雪、猛暑、水
害、熊出没といろいろあり
ましたが、最近はコロナも
収まり奴振、鹿子踊が浅草
で奉納する等、良い知らせ
もあります。約二十年の間
にはよいこともよくないこ
とも沢山ありました。が神社
便りは今後も引き続き発行し
ます。神社も整備を進めてまい
ります。今後とも神社運営に
つきましてご協力をいただ
きますよう、よろしくお願
い申し上げます。



七五三詣のご案内 (完全予約制)

とき
十一月十五日
ところ

熊野神社

玉串料 一名五千元 二名八千元
三名以上二万円

お一組ずつお祓いしますので事前に社務所までご予約
ください。服装は平服でかまいません。境内未舗装のた
め足下にお気をつけておいでください。

別の日などを希望される場合はご相談ください。

連絡先 ○二三七(五四)二三一〇



霜月月次祭

十一月二日十四時

神宮大麻頒布始祭

花御札 玉串料一千元